職業実践専門課程等の基本情報について

		設置認可名	F月日 校	泛長名			所在地						
青山建築デザイン・ 専門学校	医療事務	昭和62年12	2月4日 林	晴一		060-0005 北海道札幌市中央区3	北5条西14丁目1-42						
設置者名		設立認可知	F月日 代	表者名	(電話)	011-281-4155	所在地						
学校法人	3	昭和62年12	月19日 鈴木	大 文子		060-0005 北海道札幌市中央区3	北5条西14丁目1-42						
北海道鹿光学		認定課程名	認定学科	.名	(電話)	011-281-4155 引士認定年度	高度専門士認定な	E度 職業実践』	厚門課程認定年度				
商業実務		専門課程	医療事務学	≜科	亚成27/2015)在由								
学科の目的	医療事務職	践として必須の診療	吸酬請求事務をはじめ、 秘		ネスマナー、	PC入力など、医療秘書。	としての基礎知識の習	骨を目指す。					
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)			書(ドクターズクラーク)は「 知識が必要となることから										
修業年限	昼夜		を要な総授業時数又は総 単位数	講事	É	演習	実習	実験	実技				
2 年	昼間	※単位時間、単位いず かに記入	2,640 単位時間	923	単位時間単位	1,597 単位時間 単位	120 単位時間	0 単位時間	0 単位時間				
生徒総定員	生徒実	ミ員(A) 留学	生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割·	合(B/A)	中退率							
40 人		人 *** (0)	0 人	0	%	0 %							
		望者数 (D)	: 0		人								
	■就職者		: 0		<u> </u>								
	■就職率	(E/D)	0		%								
	■就職者	に占める地元就職者	fの割合 (F/E) 0		%								
	■卒業者(こ占める就職者の割	合 (E/C) 0		%								
就職等の状況	■進学者	数	0		人								
	■その他												
		卒業生) 評価機関等から第 、例えば以下について				無							
第三者による 学校評価		評価団体: -	II & LU	受審年月:	_		結果を掲載した _ ムページURL						
当該学科の ホームページ URL	https://ac	oyamakougaku.ac.j	o/medical_medical_affair	rs.html									
51.2	(A:単位	(時間による算定)											
		総授業時数											
		うち企刻	業等と連携した実験・実 習					2,640 単位時間					
			と 中に 建 房 じ た 夫 歌	営・実技の授業	時数			2,640 単位時間 120 単位時間					
			美等と連携した演習の授業		時数								
			業等と連携した演習の授業 参授業時数	美時数				120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間					
			業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した	美時数 こ必修の実験・	実習・実技の	D授業時数		120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間					
		うち必修	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	業時数 ○必修の実験・ ○必修の演習の	実習・実技(授業時数	D授業時数		120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間					
		うち必修	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した	業時数 ○必修の実験・ ○必修の演習の	実習・実技(授業時数	の授業時数		120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	うち必修	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	業時数 ○必修の実験・ ○必修の演習の	実習・実技(授業時数	の授業時数		120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間					
実習等の実施状況	(B:単位	うち必f (うち1 数による算定) 総単位数	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 主業等と連携したインター	集時数 左必修の実験・ 左必修の演習の ーンシップの授	実習・実技(授業時数 業時数)	D授業時数		120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	うち必f (うち1 数による算定) 総単位数 うち企ま	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 之業等と連携したインター 業等と連携した実験・実習	業時数 □ 必修の実験・ □ 必修の演習の □ ンシップの授 □ ・実技の単位	実習・実技(授業時数 業時数)	刀授業時数		120 単位時間 0 単位時間 2.640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	うち必f (うちi 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 之業等と連携したインター 業等と連携した実験・実習 業等と連携した演習の単位	業時数 □ 必修の実験・ □ 必修の演習の □ ンシップの授 □ ・実技の単位	実習・実技(授業時数 業時数)	刀授業時数		120 単位時間 0 単位時間 2.640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	うち必f (うちi 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 之業等と連携したインター 業等と連携した実験・実置 業等と連携した演習の単位 多単位数	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の 一ンシップの授 『・実技の単位 立数	実習・実技(授業時数) 業時数) 数			120 単位時間 0 単位時間 2.640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	うち必f (うちi 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター と業等と連携したインター 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した演習の単位 あります。	業時数 た必修の実験・ た必修の演習の →ンシップの授 当・実技の単位 立数 た必修の実験・	実習・実技(授業時数) 業時数) 数 数			120 単位時間 0 単位時間 2.640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間 単位 単位 単位					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位	うち必f (うちi 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携したインター ま学と連携した大変・実習 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	業時数 ∠必修の実験・ ∠必修の演習の →ンシップの授 『・実技の単位 立数 こ必修の演習の こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技(授業時数) 業時数) 数 数 実習・実技(数			120 単位時間 0 単位時間 2.640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 -	うち必f (うちi 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター と業等と連携したインター 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した演習の単位 あります。	業時数 ∠必修の実験・ ∠必修の演習の →ンシップの授 『・実技の単位 立数 こ必修の演習の こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技(授業時数) 業時数) 数 数 実習・実技(数			120 単位時間 0 単位時間 2.640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間 単位 単位 単位					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 -	うち必f (うちi 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携したインター ま学と連携した大変・実習 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	業時数 ∠必修の実験・ ∠必修の演習の →ンシップの授 『・実技の単位 立数 こ必修の演習の こ必修の実験・ こ必修の演習の	実習・実技(授業時数) 業時数) 数 数 実習・実技(数			120 単位時間 0 単位時間 2.640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 	うち必ණ (うちが	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した。 うち企業等と連携したインター ま学と連携した大変・実習 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	集時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実際・ ニンシップの授 『・実技の単位 な必修の演習の こと必修の実験・ ことの表別である。 ことの表別ではいる。 ことの表別ではい	実習・実技(授業時数) 業時数) 数 変 単位数 位数)		第1号)	120 単位時間 0 単位時間 2.640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(B:単位 	うち必ණ	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した実験・実習 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した うちで なる業等と ・学校 を変える ・学校 ・であって、 ・会え、 ・学校 ・であって、 ・会え、 ・学校 ・であって、 ・会え、 ・であって、 ・会え、 ・であって、 ・会え、 ・であって、 ・会え、 ・であって、 ・であって、 ・であって、 ・会え、 ・であって、 ・一であって、 ・一であるで、 ・一でな ・一で ・一でな ・一でな ・一でな ・一でな ・一でな ・一でな ・一でな ・一でな ・一でな ・一でな ・一で	集時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実際・ ニンシップの授 『・実技の単位 な必修の演習の こと必修の実験・ ことの表別である。 ことの表別ではいる。 ことの表別ではい	実習・実技(授業時数) 業時数) 数 実習・実技(単位数 (専修学・	力単位数		120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位					
実習等の実施状況か (A、Bいずれか に記入)	(B:単位 - -	うち必ණ (うちが	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した うちで、 でする りに従事した のする のする のする のする のする のする のする のする	集時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実際・ ニンシップの授 『・実技の単位 な必修の演習の こと必修の実験・ ことの表別である。 ことの表別ではいる。 ことの表別ではい	実習・実技(授業時数) 教 教 変 事性位数 (専修学・ (専修学・	D単位数	第2号)	120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人					
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)	(B:単位 - - - - -	うち必ණ	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した うちを な業務に従事した でする ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちず	集時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実際・ ニンシップの授 『・実技の単位 な必修の演習の こと必修の実験・ ことの表別である。 ことの表別ではいる。 ことの表別ではい	実習・実技(授業時数) 教 教 を実習・実技(単位数) (専修学 (専修学	D単位数	第2号) 第3号)	120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人					
実習等の実施状況か (A、Bいずれか に記入)	(B:単位 - - -	うち必ණ	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した うちを な業務に従事した でする ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちず	集時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実際・ ニンシップの授 『・実技の単位 な必修の演習の こと必修の実験・ ことの表別である。 ことの表別ではいる。 ことの表別ではい	実習・実技(授業時数) 教 教 文 学 単位数 (専修学 (専修学 (専修学	D单位数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	第2号) 第3号) 第4号)	120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 1 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 2 人 0 人					
実習等の実施状況か (A、Bいずれか に記入)	(B:単位	うち必ණ	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した うちを な業務に従事した でする ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちず	集時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実際・ ニンシップの授 『・実技の単位 な必修の演習の こと必修の実験・ ことの表別である。 ことの表別ではいる。 ことの表別ではい	実習・実技(授業時数) 教 教 文 学 単位数 (専修学 (専修学 (専修学	力単位数 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9	第2号) 第3号) 第4号)	120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 1 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上 単位 上 単位 上 単位 上 単					
で記入) で記入)	(B:単位	うち必ණ	業等と連携した演習の授業 を授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 業等と連携した演習の単位 多単位数 うち企業等と連携した うちを な業務に従事した でする ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちずる ちず	集時数 ニ必修の実験・ ニ必修の実際・ ニンシップの授 『・実技の単位 な必修の演習の こと必修の実験・ ことの表別である。 ことの表別ではいる。 ことの表別ではい	実習・実技(授業時数) 教 教 文 学 単位数 (専修学 (専修学 (専修学	力単位数 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9	第2号) 第3号) 第4号)	120 単位時間 0 単位時間 2,640 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 1 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 人 2 人 0 人 0 人					

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育活動において、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、建築分野における実務に 関する知識、技術及び技能について企業等と連携して組織的な教育を行う。具体的には、学生の就業先企業が新入社員 に期待する実務知識や能力の完全取得を目指す。そのために、企業等の要請を十分にいかした教科目の新設や、授業の 工夫・改善を教育課程編成委員会又は国・地域、各業界団体等の意見を考慮しながら、本校の主体性のもと、実践的かつ 専門的な職業教育を行う。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

広く関連の企業・業界団体・学術機関などから選任された、教育課程編成委員会を設置する。教育課程編成委員会は上記に挙げた基本方針に沿って、カリキュラム改善の提案を本校に対して提言する。本校は主体的かつ組織的(本校組織図を参照)にそれを検討し、実行に移す。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
伊藤 将俊	(一社)北海道建築士会	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	2
濱田 朋里	北海道診療情報管理研究会	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	2
渡邊 和彦	医療法人春林会 華岡青洲記念病院	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	3
白田 智樹	白田建築事務所	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	3
本間 純子	(有)アリエルプラン・インテリア設計室	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	3
林 晴一	校 長		_
高林 信親	副校長		_
矢野 倫大	教務部 部長		_
山本 崇仁	教務部 課長		_
武川 真理子	教務部 課長		_
家常 吏恵	教務部		_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、9月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年6月29日 15:45~17:20 第2回 令和6年9月28日 15:30~17:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 1.委員から出された意見
- ①ITパスポート・情報系の資格取得を取らせてほしい。
- ②医療機関において、医療事務従事者が減っている。専門学校は、高校生へのPRにより学生を確保し、人数を増やして欲しい。 2.意見の活用
- ①今年の8月に学生1名が医療情報技師試験を受験した。医事コンピュータの検定試験では、実技ではカルテと伝票からのレセプト作成、学科では 医療事務とPC基礎の3部門となっており、PC基礎の部門では、2年次から医療情報技師の授業が入ってくるので、受験を勧めたい。
- ②高校生が興味を持つような学校づくりと、現在の医療現場で必要な教科編成を検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現病院(関連企業)実習では、病院の役割や機能を理解し、院内での仕事の分担や役割や医療スタッフとしての責任や職務について体験的に学ぶ場とする。また、実習を通し必要とされる職務能力を把握し、学生自身が今後に学ばなければならないことを理解させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実際の医療現場や関連企業にて、受付業務、保険請求事務、診療録管理業務、秘書業務、病棟クラーク業務等について 実習する。実習期間中に本校の担当教員が各実習先を訪問し、実習担当者ならびに関連企業の職員に学生の実習中の 状況や今後の実習内容について協議を行う。また評価は、実習担当者が記入した実習成績評価票に基づき、本校の担当 教員が学生が作成した実習記録も参考にし、総合的に判断して評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
病院実習	(4に該当するものを	「病院実習」で学んだことをパワーポ イントを使ってまとめ、プレゼンテー ションする。	- 医療法人渓仁会 手稲渓仁会病院 - 医療法人春林会 華岡青洲記念病院 - 医療法人徳洲会 札幌徳州会病院 - 医療法人東札幌病院 - JA北海道厚生連 札幌厚生病院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は「教員研修規程」に基づき自らの専門分野について、日進月歩する学術・技術について年度毎研修し、これを授業に 反映させるとともに、学生の特性が時と共に変化することを念頭に入れ、学生の指導方法等について年度毎研修し、最良 の指導を目指すこととする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 現在の医療機関で使用されている電子カルテ並びにレセコンについて 連携企業等:株式会社メディソフト

期間: 令和5年7月20日(木) 対象: 本校教職員

内容 現在の電子カルテの入力について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 本校教員の学生に対する指導力を修得・向上するための研修 連携企業等:株式会社心理カウンセリング・ココ

期間: 令和5年6月17日(土) 対象: 本校教職員,非常勤講師

内容教育、指導現場についてのハラスメントについて考える

研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会 連携企業等: 北海道私立専修学校各種学校教 連携企業等: _{員能力認定委員会}

期間: 令和5年8月1日(火) 対象: 本校教職員

内容 心動かす価値が未来を変える~持続可能な組織・地域をつくるために~

研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会 連携企業等: ^{北海道私立専修学校各種学校教}

期間: 令和5年12月21日(木) 対象: 本校教職員

内容 未来の北海道を創る~令和の働き方・学び方を考える~

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医療事務系教員研修 連携企業等:検討中

期間: 令和6年12月実施予定 対象: 本校教職員,非常勤講師

内容 検討中

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 本校教員の学生に対する指導力を修得・向上するための研修 連携企業等: 株式会社心理カウンセリング・ココ

期間: 令和6年6月15日(土) 対象: 本校教職員,非常勤講師

内容 多様性の理解を深める

研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会 連携企業等: _{員能力認定委員会} 連携企業等: _{員能力認定委員会}

期間: 令和6年7月22日(月) 対象: 本校教職員

内容 大学における障害学生支援~合理的配慮を中心に~

期間: 令和6年12月に実施予定 対象: 本校教職員

内容 未定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

別紙「青山建築デザイン・医療事務専門学校 学校関係者評価基本方針」に内容を記載

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2) 専修学校におりる学校評価カイトライン」の ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか) ②学外の方に対して教育理念等を明文化し、公開しているか
(2)学校運営	①運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか ②学校の年間スケジュールはあるか ③組織機能図があるか ④運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか ⑤授業評価の実施・評価体制はあるか ⑥教員の能力開発のための研修等がおこなわれているか ⑦人事に関する制度を整備しているか ⑧給与に関する制度を整備しているか
(3)教育活動	①講義および実習に関するシラバスは作成されているか ②少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見 直しを行っているか ③企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか ④成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ⑤各規程に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定をお こなっているか
(4)学修成果	①就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善をはかっているか) ②学生の就職活動に関する記録がなされているか ③対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等) ④資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)

	1
(5)学生支援	①就職等に関する支援部署・相談部署(就職担当部門)はあるか ②企業からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開しているか ③学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか) ④学費の減免、特待生試験、学校独自の奨学金制度はあるか ⑤退学者数を公開しているか ⑥緊急時の保証人(保護者)等との連絡体制を確保しているか ⑦成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談しているか
(6)教育環境	①教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか ②学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされてい るか ③定期的に防災訓練を実施しているか
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか ②入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか ③体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか ④学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか) ⑤社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか。⑥学校案内等に学費、授業料、学習教材の購入費等が明示されているか
(8)教育の内部質保証システム	①教育活動に関する情報公開が適切になされているか ②学校関係者評価結果を公表しているか
(9)財務	①私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、 評議員会に報告しているか ②財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか
(10)社会貢献·地域貢献	①地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等)の受託を積極的に実施しているか ②学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
(11)国際交流	-
※(10)及び(11)については任意記載。	

- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- 1.企業等委員から出された評価結果
- ①学生支援について:高校の3年間がコロナ渦と重なり、人間関係を上手くつくれない学生が多かったようだが、貴校は担任の先生が上手く対応してくれているようであり、保護者としてありがたい。
- ②学生支援について:欠席の多い学生に対して、コロナ禍のときのようなオンライン授業で対応してはどうか。
- 2.活用する具体的な内容
- ①本校は、まずはじめに担任に悩みを相談する学生が多いので、この支援を継続する。
- ②精神面などで、外からみて判断できない病気が多くなっているため、教務規定を拡大して対応している。今後、授業や環 境づくりも含めて様々な方法で検討する。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

	名 前	所 属	任期	種別
井野	雄介	左	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
白田	智樹	白田建築事務所	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
本間	純子		令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
中川	都代子	在校生 保護者	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	保護者
岡村	亜弥		令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://aoyamakougaku.ac.jp/school/pdf/r5_hyoka.pdf

公表時期: 2024年6月3日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

別紙「青山建築デザイン・医療事務専門学校 学校関係者に対する情報提供の基本方針」に内容記載

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

対 プログローフィンコの 一気 口 この グラル
学校が設定する項目
① 校長名② 所在地③ 連絡先④ 沿革⑤ 教育理念⑥ 教育目標⑦ 校舎
① 入学定員・修業年数② 学生数③ カリキュラムの編成と運用
① 教職員数② 専任教員一覧及び主たる担当教科
① キャリア教育② 実践的職業教育③ 就職支援
① 学校行事② 課外活動③ 教育環境
① 経済的な支援② 奨学金制度・授業料免除の状況
① 入学金·授業料·施設維持費·教材実習費
① 貸借対照表② 資金収支計算書
① 自己点検評価・学校関係者評価結果
-
-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://aoyamakougaku.ac.jp/school/pdf/r6 koukai.pdf

公表時期: 2024年6月3日

授業科目等の概要

	授業科目等の概要 (専門課程 医療事務学科 (医療秘書・クラーク・薬局事務コース))															
	-	分類				配	授		授	業	方法 実	場	所	教	員	企
	必		自			当年	業	単	講	演	験	校	校	専	兼	業等
		択必	由選	授業科目名	授業科目概要	次・	時	位			技実					との
	修	修	択			学期	数	数	義	習	習・実	内	外	任	任	連携
1	0			一般教養 I	一般的知識と論理的思考の習得を目指 し、基礎知識の確認と問題解答力の向上	1 後	38	2	0			0			0	
2	0			一般教養Ⅱ	日常触れる事柄から社会常識の習得	2 前	28	2	0			0			0	
3	0			硬筆書写	硬筆による漢字(楷書・行書)平仮名、 カタカナ、数字、符号など正しく書くこ と、社内文書の書き方	1 通	55	3	0			0			0	
4	0			就職研修	就職活動に向けての対策講座	通			0			0		0		
5	0			臨床心理学	統合失調症、気分障害などの心理的問題、児童虐待についての問題や自閉症などの発達障害等、現代社会における臨床 心理を学ぶ	2 後	38	2	0			0			0	
6	0			秘書概論	秘書検定合格のための、基礎知識の習得 とビジネスマナー	1 通	74	4	0			0			0	
7	0			<u></u>	ビジネス検定合格のための、基礎力の習 得。	2通	66	4	0			0			0	
8	0			検査と薬品 I	検査と薬理学について、病院など医療機 関で仕事をする上で必要となる基礎知 譲、常識を習得させる。	1後	38	2	0			0			0	
9	0			検査と薬品 Ⅱ	核査と薬理学について、病院など医療機関で仕事をする上で必要となる基礎知識、常識を習得させる。	2 前	28	2	0			0			0	
10	0			医療保障	健康保険法、国民健康保険法各法を給付別に理解させ、医療保障制度と国民・社会とのかかわりについて	1通	74	4	0			0		0		
11	0			医学用語	医学用語(英語を含む)の基礎概念を人 体の部位を機能の関係から学ぶ	1 前	36	2	0			0			0	
12	0			人 体 構 造 ・ 機能論	人体の構造と働きを学ぶ	1 通	74	4	0			0			0	
13	0			医療概論	基礎医学と臨床医学の枠組みを理解し、 医学と医療の歴史を踏まえた上で、社会 保険・地域保健・予防医学を含めた現代 医療の実際について学ぶ。	1 前	36	2	0			0			0	
14	0			医学総論	医学は人体の仕組みを理解し、病気の原 因・病態・診断・治療・予防・予後など について理解する。	1 後	38	2	0			0			0	
15	0			医療関連法規I	「療養担当規則」の遵守の必要性と医療 関係法律、告示、通知等の目的、内容の 理解を目指す。	1 通	74	4	0			0		0		
16	0			医療関連法 規Ⅱ	「療養担当規則」の遵守の必要性と医療 関係法律、告示、通知等の目的、内容の 理解を目指し、能力認定試験の合格を目 指す。	2 前	28	2	0			0		0		
17	0			基礎医学	人体の解剖、生理の一般的な知識を踏まえた上で、様々な疾患について学び、そのメカニズムや症状、治療などへの理解を深めるとともに、資格を取得しカルテを読み取るための医学的知識の習得。	2通	66	4	0			0			0	

35	0	自主研修	体育館で運動をしたり、検定対策や課題作成など、自由に選択できる	通科	280	16		0	144	0	<u> </u>	○	時間	1)
34	0	コ ミ ュ ニ ケーション 技法 II	就職活動や社会に出てからのコミュニケーション能力を高める	2 後	38	2		0		0			0	
33	0	コ ミ ュ ニ ケーション 技法 I	コミュニケーションスキルを養い、社会に出た際にスムーズに人間関係を保てるようにする	1 前	36	2		0		0			0	
32	0	卒業研究	「病院実習」で学んだことをパワーポイ ントを使ってまとめ、ブレゼンテーショ ンする。	2 後	57	3		0		0		0		
31	0	病院実習	学校で学んだことを基に、実際の医療機関の現場で働く	2 前	120				0		0	Δ		0
30	0	実習 · 就職 支援講座	病院実習や就職活動への対策や支援を行う。	2通	66	4		0		0		0		
29	0	PC エ キ スパート	表計算・ワード・アクセス等の上級の資格取得を目的とする。	2通	66	4		0		0			0	
28	0	データベー ス (Access)	データベースの利用と活用方法	1 後	38	2		0		0			0	
27	0	PC基礎知識	病院内や地域医療の現場で使われている コンピュータやネットワークシステムに ついての理解		74	4		0		0			0	
26	0	プレゼン テーション (PowerPoin t)	プレゼンテーションツールを使用し、その操作方法の理解と活用の基本を学び自分の考えを発表出来るようにする	2 通	66	4		0		0		0		
25	0	表 計 算 (Excel)	アプリケーションソフト・エクセルの機能と操作方法を理解させる。関数を使った計算やデータを利用した集計などを教える。	1	38	2		0		0		0		
24	0	ワープロ (Word)	Wordの基本操作から応用までの技術の習得	1 前	36	2		0		0			0	
23	0	ケアクラーク	介護事務についての基礎知識を習得し、 介護給付費明細書の作成する介護技術の 習得	2 通	132	8		0		0			0	
22	0	クラーク	医師事務作業補助が業務遂行するにあた り求められるスキルと業務を行う上で重 要な診療録・電子カルテ・個人情報・医療安全について学ぶ	2	75	5		0		0		0		
21	0	医事 コンピュータ	診療報酬請求事務の知識と、医事コン ビュータ入力技術の習得	1 通	91	5		0		0		0		
20	0	診療報酬請 求事務Ⅱ	診療報酬請求事務能力検定試験対策	2 通	170	10		0		0		0		
19	0	診療報酬請 求事務 I	医療事務の基礎を学び、診療報酬明細書をしっかりと作成できるようにする。	1 通	334	18		0		0		0		
18	0	調剤事務講座	薬剤の基礎知識と処方箋による調剤報酬 算定方法、レセブト作成の為の基礎知識 の習得を目標とし、調剤事務管理士の資 格取得を目指す	2	132	8	0			0		0		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件: 欠席総数20日以内/採点評価50点以上/全課題提出完了の者/学費完納者	1 学年の学期区分	2 期
	4 HD 40 HD 88	10~10 10

卒業条件: 欠席認数2 0 日以内/ 採品評画 0 日 以上 1 全球の反東地元 1 で 1 の 2 日 東 1 大 5 日 東 1 日

職業実践専門課程等の基本情報について

	医療事務	設置認可年		<u>校長名</u> 林 晴一	〒 (住所)	060-0005 北海道札幌市中央区北	<u>所在地</u> .5条西14丁目1-42			
専門学校					(電話)	北海道札幌市中央区北 011-281-4155				
<u>設置者名</u> 学校法人		設立認可年	月日	代表者名	Ŧ	060-0005	所在地			
北海道鹿光等		昭和62年12	月19日	鈴木 文子		北海道札幌市中央区北 011-281-4155	5条西14丁目1-42			
分野	Ī	認定課程名		定学科名		門士認定年度	高度専門士認定	年度	職業実践専	門課程認定年
商業実務		専門課程		療事務学科 診療情報管理士コー	-ス) 平原	戈27(2015)年度	-		平成2	7(2015)年度
学科の目的						情報管理士や医療情報技能				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	種に就職し	ても即戦力として通	用する人材を育り	或する。診療情報	管理士認定試験,	酬事務はもちろんのこと、さ」など合格を目指すことが出 」など合格を目指すことが出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	来るのはもちろん、			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業時数 単位数 	又は総	講義	演習	実習	実験	<u></u>	実技
2	昼間	※単位時間、単位いずね かに記入			1,349 単位時間	1,171 単位時間	120 単位時間		単位時間	0 単位時間
生徒総定員	生徒実		単 生数(生徒実員の内)		^{単位} 生割合(B/A)	中退率	単位	#	単位	単位
40 人	12	1	0 人		0 %	0 %				
40 🔨	■卒業者		:	4	J 70	0 %				
	■就職希	望者数(D)	:	0	À	- -				
	■就職者 ■地元就	数 (E) 職者数 (F)	:	0		-				
	■就職率	(E/D)	- の割み / [/ [/ [/ [/ [/ [/ [/ [/ [/	0	%	- -				
		に占める地元就職者		0	%	_				
	■卒業者(こ占める就職者の割	合 (E/C)	0	%					
就職等の状況	■進学者	数		4	% 人	- -				
	■その他									
	(令和5年度 -		- +x == / m							
		評価機関等から第				無				
第三者による		評価機関等から第 、例えば以下について					Level A Marie At A			
第三者による 学校評価	※有の場合			受審年	月: -	評価紹	5果を掲載した - ページURL	-		
	※有の場合	、例えば以下について	任意記載		月: -	評価紹		-		
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: -	任意記載		月: -	評価紹		-		
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: — oyamakougaku.ac.jg	任意記載		月: -	評価紹		2,640 単	单位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.jg 時間による算定) 総授業時数	任意記載 o/medical_medic			評価紹		2,640 単	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.jg 時間による算定) 総授業時数 うち企業	任意記載 o/medical_medic	cal_affairs.html		評価紹		2,640 単 120 単		
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.jg 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	任意記載 o/medical_medic な 等 と連携した実	cal_affairs.html		評価紹		2,640 単 120 単	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.jg 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	任意記載 p/medical_medic k等と連携した実 k等と連携した演 を接乗時数 うち企業等と	cal_affairs.html 定験・実習・実技の 習の授業時数 連携した必修の身)授業時数 足験・実習・実技	評価税水ーム		2,640 单 120 单 0 单 2,640 单 120 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.jr 時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必有	任意記載 b/medical_medic	cal_affairs.html 対験・実習・実技の 習の授業時数 連携した必修の身)授業時数 保験・実習・実技 複習の授業時数	評価税水ーム		2, 640 单 120 单 2, 640 单 120 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等と連携した	※有の場合 https://ad (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.jr 時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必有	任意記載 b/medical_medic	cal_affairs.html 定験・実習・実技の 習の授業時数 連携した必修の身)授業時数 保験・実習・実技 複習の授業時数	評価税水ーム		2, 640 单 120 单 2, 640 单 120 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携しした況への実施状れか	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.jr 時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必有	任意記載 b/medical_medic	cal_affairs.html 対験・実習・実技の 習の授業時数 連携した必修の身)授業時数 保験・実習・実技 複習の授業時数	評価税水ーム		2, 640 单 120 单 2, 640 单 120 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した決決	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.jr 時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必有	任意記載 b/medical_medic	cal_affairs.html 対験・実習・実技の 習の授業時数 連携した必修の身)授業時数 保験・実習・実技 複習の授業時数	評価税水ーム		2, 640 # 120 # 0 # 2, 640 # 120 # 0 #	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携しした況への実施状れか	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.jr 時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち企ま うち必ず (うち4	任意記載 n/medical_medic 実等と連携した演 等と連携した演 を授業時数 うち企業等と うち企業等と ま葉等と連携した	cal_affairs.html 対験・実習・実技の 習の授業時数 連携した必修の身)授業時数 家験・実習・実技 な習の授業時数 ずの授業時数)	評価税水ーム		2,640 单 120 单 2,640 单 120 单 0 单	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した況 へんの スページ	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち近 数による算定) 総単位数 うち企業	任意記載 n/medical_medic 実等と連携した演 等と連携した演 を授業時数 うち企業等と うち企業等と ま葉等と連携した	cal_affairs.html 意識・実習・実技の 習の授業時数 連携した必修のす 連携した必修のす インターンシップ)授業時数 家験・実習・実技 な習の授業時数 ずの授業時数)	評価税水ーム		2,640 单 120 单 2,640 单 120 单 0 单	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携しした況への実施状れか	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うちú 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業	任意記載 o/medical_medic k等と連携した実 等と連携した演 を授業時数 うち企業等と うち企業等と ・・ ま等と連携した ないまする。 ないまする。 ないまするる。 ないまするる。 ないま	cal_affairs.html 主教・実習・実技の 習の授業時数 連携した必修の 連携した必修の の にインターンシップ に 歌・実習・実技の	D 授業時数 足験・実習・実技 容習の授業時数 の授業時数) 単位数	評価能水ールの授業時数		2,640 单 120 单 2,640 单 0 单 0 单 4 单	单位時間 单位時間 单位時間 单位時間 单位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携しした況への実施状れか	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うちú 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業	任意記載 o/medical_medic k等と連携した実 等と連携した演 を授業時数 うち企業等と うち企業等と ・・ ま等と連携した ないまする。 ないまする。 ないまするる。 ないまするる。 ないま	cal_affairs.html 意識・実習・実技の 習の授業時数 連携した必修のす 連携した必修のす インターンシップ	D 授業時数 足験・実習・実技 容習の授業時数 の授業時数) 単位数	評価能水ールの授業時数		2,640 # 120 # 2,640 # 12	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携施しした況 A、Bいがれか	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち近 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必ず	任意記載 o/medical_medic g等と連携した実 等と連携した演 を授業時数 うち企業等と うち企業等と 主携した実 等と連携した ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないます	cal_affairs.html	D 授業時数 足験・実習・実技 設督の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 を表する をまずる を表する をまずる を表する をまずる を表する をまずる を表する をまずる を表する をまする を表する を表する	評価能水ールの授業時数		2,640 年 120 年 2,640 年 120 日 12	単位時間 単単位時間 単単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等と連携しした況 A、Bいがれか	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち近 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必ず	任意記載 o/medical_medic g等と連携した実 等と連携した演 を授業時数 うち企業等と うち企業等と 主携した実 等と連携した ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないます	cal_affairs.html	D 授業時数 足験・実習・実技 設督の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 を表する をまずる を表する をまずる を表する をまずる を表する をまずる を表する をまずる を表する をまする を表する を表する	評価能水ールの授業時数		2,640 年 120 年 2,640 年 120 日 12	単位時間 単単位時間 単単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等をと連携しした況 A、Bいずれか	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち近 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必ず	任意記載 o/medical_medic k等と連携した実 等と連携した演 を接くと連携した演 を接くを連携した演 を表等と連携した ないます。 はいます。 はいまする はいます。 はいまする はいます。 はいまする はいます	al_affairs.html al_a	D 授業時数 R 接 字 響・実技 東 雷・実技 東 雷 の 授業 時数 プ の 授業 時数 の 単 位数 R 経 ・ 実 習 ・ 実技 な 習 の 単 位数 の 単 位数 の 単 位数 の 単 位数	評価能水ールの授業時数	N-VUR L	2,640 年 120 年 2,640 年 120 日 12	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等をと連携しした況 A、Bいずれか	※有の場合 https://ac	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うちかが (うちかが) (うちか	任意記載 o/medical_medic k等と連携した演 を接等と連携した演 を接等と連携した演 方の企業等と 支統等と連携した 方の企業等と を表等と連携した 方の企業等と を表等と連携した 方の企業等と を表等と連携した 方の企業等と を表等と で表現した の方の企業等と を表現した の方の企業等と の方の企業を の方ので の	al_affairs.html al_a	ク授業時数 定験・実習・実技 を習の授業時数 がの授業時数 がの授業時数 がの授業時数 がの授業時数 がの授業時数 がの授業時数 がでした。 「ではる数 での単位数 がではる。 「ではる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるるる。 「ではるる。 「ではるる。 「ではるる。	評価額 ホームの授業時数	1号)	2,640 年 120 年 0 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年	単位時間 間 単単位時間 間 単単位 中 単単位 中 単単位 中 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	
学校評価 当該学科のホージ URL 業等等と連連施・した況か に記入)	※有の場合 https://ac (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち血 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必ず (うち血 での担当業年度と者を表したとして、 (うち血 での担当業年度と者を表したとして、 のものでは、 でのものでする。 でのものでする。 でのものでは、 でのものでする。 でのものでする。 でのものでする。 でのものでする。 でのものでする。 でのものでする。 でのものでする。 でのものでする。 でのものでする。 でのものでする。 でいるでは、 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるできる。 でいるできる。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでものでする。 でいるでは、 でいるでものでする。 でいるでは、	任意記載 po/medical_medic we w	al_affairs.html al_a)授業時数 深験・実習・実技 変験・実習・実技 変形 ・ 変形	評価額 ホーム の授業時数 の単位数 ・ 校設置基準第41条第1項第	1号) 2号)	2,640 单 120 单 2,640 单 120 单 0 单 0 单 4 单 4 单 4 单	単位時間 間 単単位時間 間 単単位時間 間 単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等のいた に記入) までは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	※有の場合 https://ac (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必ず (うち企 での修すする教きする限者 での修生となる者 での修生となる者 での修生となる者 (② 学士の学位をオ	任意記載 o/medical_medic k等と連携した実 等と連携した of なな 等と c ま等と連携した of なな ま等と c ま等と連携した c ま等と連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと c まずらと	al_affairs.html al_a	D 授業時数 R 験・実習・実技 R で ・ 実技 の単位数 ・ に で ・ で で 学 ・ に で 作 学	評価額 ホーム の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項第	1号) 2号)	2,640 単 120 単 2,640 単 120 単 0 単 120 単 0 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単	単位時間 単位時時間 単位時時間 単位は時間 単位位時間 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位	
学校評価 当該学科のホージ URL 業等等のいた。 と連実施状か に記入)	※有の場合 https://ac (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji 時間による算定) 総授業時数 うち企動 うち企動 (うち血動 変による算定) 総単位数 うち企動 (うち血動 での修すす限を対しませる教と当話 での修文を表しまる。 (② 学士の学位をを対しませる。) (③ 高等学校教育)	任意記載 o/medical_medic k等と連携した実 等と連携した of なな 等と c ま等と連携した of なな ま等と c ま等と連携した c ま等と連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと c まずらと	al_affairs.html al_a	D 授業時数 接験・実習・実技 では、	評価額 ホーノ の授業時数 の単位数 や投設置基準第41条第1項第 ・ 校設置基準第41条第1項第	1号) 2号) 3号)	2,640 単 120 単 2,640 単 120 単 0 単 120 単 0 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位は時間 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等のいた に記入) までは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	※有の場合 https://ac (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji にはる算定) 総授業時数 うちかが (うちかが) (うちかが) 数による算定) 総関業は位数 (うちかが) (うちか	任意記載 o/medical_medic k等と連携した実 等と連携した of なな 等と c ま等と連携した of なな ま等と c ま等と連携した c ま等と連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと c まずらと	al_affairs.html al_a	D 授業時数 接験・実習・実技 では、	評価額 ホール の授業時数 の単位数 や投設置基準第41条第1項第 ・ 校設置基準第41条第1項第 ・ 校設置基準第41条第1項第	1号) 2号) 3号)	2,640 年 120 年 2,640 年 120 年 0 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 日 6 日 7	単位時間 単位時時間 単位時時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等等のいた に記入) までは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	※有の場合 https://ac (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pyamakougaku.ac.ji にはる算定) 総授業時数 うちかが (うちかが のはよる算定) 総授業時数 うちかが (うちかが のもいまでする数とでする数とするです。 での後とする数とする数とする数とする数とする数とする数とする数とする数とする数とする数	任意記載 o/medical_medic k等と連携した実 等と連携した of なな 等と c ま等と連携した of なな ま等と c ま等と連携した c ま等と連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと連携した c まずらと c まずらと	al_affairs.html al_a	D 授業時数 接験・実習・実技 では、	評価額 ホール の授業時数 の単位数 や投設置基準第41条第1項第 ・ 校設置基準第41条第1項第 ・ 校設置基準第41条第1項第	1号) 2号) 3号)	2,640 埠 120 埠 2,640 埠 120 埠 120 埠 120 埠 120 埠 120 埠 14	単位時間 単位時時間 単位時時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の教育活動において、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、建築分野における実務に 関する知識、技術及び技能について企業等と連携して組織的な教育を行う。具体的には、学生の就業先企業が新入社員 に期待する実務知識や能力の完全取得を目指す。そのために、企業等の要請を十分にいかした教科目の新設や、授業の 工夫・改善を教育課程編成委員会又は国・地域、各業界団体等の意見を考慮しながら、本校の主体性のもと、実践的かつ 専門的な職業教育を行う。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

広く関連の企業・業界団体・学術機関などから選任された、教育課程編成委員会を設置する。教育課程編成委員会は上記に挙げた基本方針に沿って、カリキュラム改善の提案を本校に対して提言する。本校は主体的かつ組織的(本校組織図を参照)にそれを検討し、実行に移す。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
伊藤 将俊	(一社)北海道建築士会	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	2
濱田 朋里	北海道診療情報管理研究会	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	2
渡邊 和彦	医療法人春林会 華岡青洲記念病院	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	3
白田 智樹	白田建築事務所	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	3
本間 純子	(有)アリエルプラン・インテリア設計室	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	3
林 晴一	校 長		_
高林 信親	副校長		_
矢野 倫大	教務部 部長		_
山本 崇仁	教務部 課長		_
武川 真理子	教務部 課長		_
家常 吏恵	教務部		_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、9月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年6月29日 15:45~17:20 第2回 令和6年9月28日 15:30~17:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 1.委員から出された意見
- ①ITパスポート・情報系の資格取得を取らせてほしい。
- ②医療機関において、医療事務従事者が減っている。専門学校は、高校生へのPRにより学生を確保し、人数を増やして欲しい。 2.意見の活用
- ①今年の8月に学生1名が医療情報技師試験を受験した。医事コンピュータの検定試験では、実技ではカルテと伝票からのレセプト作成、学科では 医療事務とPC基礎の3部門となっており、PC基礎の部門では、2年次から医療情報技師の授業が入ってくるので、受験を勧めたい。
- ②高校生が興味を持つような学校づくりと、現在の医療現場で必要な教科編成を検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現病院(関連企業)実習では、病院の役割や機能を理解し、院内での仕事の分担や役割や医療スタッフとしての責任や職務について体験的に学ぶ場とする。また、実習を通し必要とされる職務能力を把握し、学生自身が今後に学ばなければならないことを理解させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実際の医療現場や関連企業にて、受付業務、保険請求事務、診療録管理業務、秘書業務、病棟クラーク業務等について 実習する。実習期間中に本校の担当教員が各実習先を訪問し、実習担当者ならびに関連企業の職員に学生の実習中の 状況や今後の実習内容について協議を行う。また評価は、実習担当者が記入した実習成績評価票に基づき、本校の担当 教員が学生が作成した実習記録も参考にし、総合的に判断して評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
病院実習	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	学校で学んだことを基に、実際の医療機関の現場で働く	•医療法人渓仁会 手稲渓仁会病院 •医療法人春林会 華岡青洲記念病院 •医療法人徳洲会 札幌徳州会病院 •医療法人東札幌病院 •JA北海道厚生連 札幌厚生病院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は「教員研修規程」に基づき自らの専門分野について、日進月歩する学術・技術について年度毎研修し、これを授業に 反映させるとともに、学生の特性が時と共に変化することを念頭に入れ、学生の指導方法等について年度毎研修し、最良 の指導を目指すこととする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 現在の医療機関で使用されている電子カルテ並びにレセコンについて 連携企業等:株式会社メディソフト

期間: 令和5年7月20日(木) 対象: 本校教職員

内容 現在の電子カルテの入力について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 本校教員の学生に対する指導力を修得・向上するための研修 連携企業等:株式会社心理カウンセリング・ココ

期間: 今和5年6月17日(土) 対象: 本校教職員,非常勤講師

内容教育、指導現場についてのハラスメントについて考える

研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会 連携企業等: _{員能力認定委員会} 連携企業等: _{員能力認定委員会}

期間: 令和5年8月1日(火) 対象: 本校教職員

内容 心動かす価値が未来を変える~持続可能な組織・地域をつくるために~

研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会 連携企業等: ^{北海道私立専修学校各種学校教}

期間: 令和5年12月21日(木) 対象: 本校教職員

内容 未来の北海道を創る~令和の働き方・学び方を考える~

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医療事務系教員研修 連携企業等:検討中

期間: 令和6年12月実施予定 対象: 本校教職員,非常勤講師

内容 検討中

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 本校教員の学生に対する指導力を修得・向上するための研修 連携企業等: 株式会社心理カウンセリング・ココ

期間: 令和6年6月15日(土) 対象: 本校教職員,非常勤講師

内容 多様性の理解を深める

研修名: 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会 連携企業等: _{員能力認定委員会} 連携企業等: _{員能力認定委員会}

期間: 令和6年7月22日(月) 対象: 本校教職員

内容 大学における障害学生支援~合理的配慮を中心に~

期間: 令和6年12月に実施予定 対象: 本校教職員

内容 未定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

別紙「青山建築デザイン・医療事務専門学校 学校関係者評価基本方針」に内容を記載

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2) 専修学校におりる学校評価カイトライン」の ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目						
(1)教育理念·目標	①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか) ②学外の方に対して教育理念等を明文化し、公開しているか						
(2)学校運営	①運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか ②学校の年間スケジュールはあるか ③組織機能図があるか ④運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか ⑤授業評価の実施・評価体制はあるか ⑥教員の能力開発のための研修等がおこなわれているか ⑦人事に関する制度を整備しているか ⑧給与に関する制度を整備しているか						
(3)教育活動	①講義および実習に関するシラバスは作成されているか ②少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見 直しを行っているか ③企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか ④成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ⑤各規程に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定をお こなっているか						
(4)学修成果	①就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善をはかっているか) ②学生の就職活動に関する記録がなされているか ③対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等) ④資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)						

(5)学生支援	①就職等に関する支援部署・相談部署(就職担当部門)はあるか ②企業からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開しているか ③学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか) ④学費の減免、特待生試験、学校独自の奨学金制度はあるか ⑤退学者数を公開しているか ⑥緊急時の保証人(保護者)等との連絡体制を確保しているか ⑦成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談しているか
(6)教育環境	①教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか ②学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされてい るか ③定期的に防災訓練を実施しているか
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか ②入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか ③体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか ④学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか) ⑤社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか。⑥学校案内等に学費、授業料、学習教材の購入費等が明示されているか
(8)教育の内部質保証システム	①教育活動に関する情報公開が適切になされているか ②学校関係者評価結果を公表しているか
(9)財務	①私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、 評議員会に報告しているか ②財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか
(10)社会貢献·地域貢献	①地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等)の受託を積極的に実施しているか ②学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
(11)国際交流	
※(10)及び(11)については任意記載。	

- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- 1.企業等委員から出された評価結果
- ①学生支援について:高校の3年間がコロナ渦と重なり、人間関係を上手くつくれない学生が多かったようだが、貴校は担任の先生が上手く対応してくれているようであり、保護者としてありがたい。
- ②学生支援について:欠席の多い学生に対して、コロナ禍のときのようなオンライン授業で対応してはどうか。
- 2.活用する具体的な内容
- ①本校は、まずはじめに担任に悩みを相談する学生が多いので、この支援を継続する。
- ②精神面などで、外からみて判断できない病気が多くなっているため、教務規定を拡大して対応している。今後、授業や環境づくりも含めて様々な方法で検討する。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

	名 前	所 属	任期	種別
井野	雄介	医療法人社団親寿会 池永クリニック	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
白田	智樹		令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
本間	純子	/ ´石 \ ´レ l T T l l ̄フ ー ` ノ 。 - 、 l l ゙ レ =クピ=+ 'ステ゚	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	企業
中川	都代子	在校生 保護者	令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	保護者
岡村	亜弥		令和6年4月1日~令和7年3月 31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://aoyamakougaku.ac.jp/school/pdf/r5_hyoka.pdf

公表時期: 2024年6月3日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

別紙「青山建築デザイン・医療事務専門学校 学校関係者に対する情報提供の基本方針」に内容記載

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	対するカイトラインコン独口とマングル
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	① 校長名② 所在地③ 連絡先④ 沿革⑤ 教育理念⑥ 教育目標⑦ 校舎
(2)各学科等の教育	① 入学定員・修業年数② 学生数③ カリキュラムの編成と運用
(3)教職員	① 教職員数② 専任教員一覧及び主たる担当教科
(4)キャリア教育・実践的職業教育	① キャリア教育② 実践的職業教育③ 就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	① 学校行事② 課外活動③ 教育環境
(6)学生の生活支援	① 経済的な支援② 奨学金制度・授業料免除の状況
(7)学生納付金・修学支援	① 入学金·授業料·施設維持費·教材実習費
(8)学校の財務	① 貸借対照表② 資金収支計算書
(9)学校評価	① 自己点検評価・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	-
(11)その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://aoyamakougaku.ac.jp/school/pdf/r6 koukai.pdf

公表時期: 2024年6月3日

授業科目等の概要

	(専門課程 医療事務学科 (医療事務・診療情報管理士コース))															
		分 選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		業演習	方法 実験・実習・実	場校内	所 校 外	教専任	兼任	企業等との連携
1	0			一般教養 I	一般的知識と論理的思考の習得を目指 し、基礎知識の確認と問題解答力の向上	1 後	38	2	0			0			0	
2	0			硬筆書写	優筆による漢字(楷書・行書)平仮名、 カタカナ、数字、符号など正しく書くこ と、社内文書の書き方	1通	55	3		0		0			0	
3	0			秘書概論	秘書検定合格のための、基礎知識の習得 とビジネスマナー	1通	74	4	0			0			0	
4	0			ビジネスマ ナー	ビジネス検定合格のための、基礎力の習 得。	2 前	28	2	0			0			0	
5	0			医療関連法規Ⅰ	「療養担当規則」の遵守の必要性と医療 関係法律、告示、通知等の目的、内容の 理解を目指す。	1通	74	4	0			0		0		
6	0			医療関連法規Ⅱ	「療養担当規則」の遵守の必要性と医療 関係法律、告示、通知等の目的、内容の 理解を目指し、能力認定試験の合格を目 指す。	2 前	28	2	0			0		0		
7	0			検査と薬品 I	核査と薬理学について、病院など医療機関で仕事をする上で必要となる基礎知識、常識を習得させる。	1 後	38	2	0			0			0	
8	0			検査と薬品 II	核査と薬理学について、病院など医療機関で仕事をする上で必要となる基礎知識、常識を習得させる。	2 前	28	2	0			0			0	
9	0			医療保障	健康保険法、国民健康保険法各法を給付 別に理解させ、医療保障制度と国民・社 会とのかかわりについて	1 通	74	4	0			0		0		
10	0			医学・医療 用語 I	医学用語(英語を含む)の基礎概念を人 体の部位を機能の関係から学ぶ	1 前	36	2	0			0			0	
11	0			医学・医療 用語 II	医学用語(英語を含む)の基礎概念を人 体の部位を機能の関係から学ぶ。医療秘 書検定対策も行う。	2 前	28	2	0			0			0	
12	0			人 体 構 造 ・ 機能論	人体の構造と働きを学ぶ。	1通	74	4	0			0			0	
13	0			医療概論	基礎医学と臨床医学の枠組みを理解し、 医学と医療の歴史を踏まえた上で、社会 保険・地域保健・予防医学を含めた現代 医療の実際について学ぶ。	1 前	36	2	0			0			0	
14	0			臨床医学総 論 (外傷 学・先天異 常等含む)	医学は人体の仕組みを理解し、病気の原因・病態・診断・治療・予防・予後などについて理解する。	1 後	38	2	0			0			0	
15	0			臨床医学各 論 I (感染 症及び寄生 虫症)	感染症の原因となる細菌、ウィルスにつ いての知識を習得し、各感染症の特徴、 症状、所見、診断法、治療を学ぶ。	2 後	38	2	0			0			0	
16	0				新生物の発症メカニズムを理解し、疾病 についての概要を学び適切な病歴診断名 につなげる知識を習得する。	2 後	38	2	0			0			0	
17	0			論 Ⅲ (血	血液、造血器、栄養、代謝、内分泌等の 障害により病態が全身にかかわる各疾病 について、それらの特徴と症状、所見、 診断法を学ぶ	2 前	28	2	0			0			0	

18	0	神 · 脳 神	脳神経系、感覚器の構造を理解し、疾病についての概要を学び、適切な病歴診断名につなげる知識を習得する。	2 後	38	2	0		0		0	
19	0	臨床医学各論 V (循環器・呼吸器系)			38	2	0		0		0	
20	0	臨床医学各 論 VI (消化 器・泌尿器 系)		2 後	38	2	0		0		0	
21	0	臨床医学各 論Ⅷ(周産 期系)		2 前	28	2	0		0		0	
22	0	臨床医学各 論 Ⅷ (膚・筋骨格 系)		2 後	38	2	0		0		0	
23	0	医療管理総論	医療の成立における社会資源の必要性を 理解し、人的資源、物的資源、財的資 源、情報資源について学ぶ。	2 前	28	2	0		0	0		
24	0	医療管理各 論 I (病院管 理)	病院管理・診療情報管理に求められる姿 を理解し、医療サービスの提供に関連する組織、運営の実態を理解する。また、 病院経営に重要な診療情報の活用方法も 併せて理解する。		38	2	0		0	0		
25	0	医療管理各 論I (医療保 険・介護保 険制度)	おが、東西のでは、 のでではいる。 のでは、 ので	2	38	2	0		0	0		
26	0	診療情報管理論 I (法令・諸規則)	砂獄情報官理に必安な言葉の定義と息味 が理報でき 関連する法会や詳細則が理	2 前	28	2	0		0		0	
27	0	診療情報管理論II(管理士の実務)	診療情報管理士の実務について	2 後	38	2	0		0		0	
28	0	国際統計分類Ⅰ	診療情報管理士の役割としての疾病や医療行為を正確に分類するための国際疾病分類 (100)の概要、主要病態・原死因選択ルールについて学ぶ。	2	38	2	0		0	0		
29	0	基礎医学概論	人体の解剖、生理の一般的な知識を踏ま えた上で、様々な疾患について学び、そ のメカニズムや症状、治療などへの関 を深めるとともに、資格を取得しカルテ を読み取るための医学的知識の習得。	2	66	4	0		0		0	
30	0	医療情報技師講座	医療情報技師検定試験対策を行う。	2通	66	4	0		0		0	
31	0	医療統計 I (統計理論)	医学・医療分野における統計学について 概説する。また診療情報管理士に認定対策(医療英語・医療情報学も含む)を行う。	2	38	2	0		0		0	
32	0	がん登録講座Ⅰ	施設で標準的な院内がん登録の実施に必要な技能を有する実務者を育成する。が をな技能を有する実務者を育成する。が ん登録実務初級者認定試験合格を目指す	2 後	38	2	0		0		0	
33	0	診療報酬請求事務Ⅰ	医療事務の基礎を学び、医療人としての 患者接遇、マナーの習得。	1 通	334	18		0	0	0		
34	0	診療報酬請 求事務Ⅱ	診療報酬請求事務の知識と技術の習得 各種医療事務検定試験取得に向けての学習 医療人としての基礎知識、患者接遇、マナーの習得	滿	113	7		0	0	0		
35	0	医 事 コ ン ピュータ	診療報酬請求事務の知識と、医事コン ビュータ入力技術の習得	1通	91	5		0	0	0		
36	0	ドクターズ クラー (電 子カルテ)	医師事務作業補助が業務遂行するにあた り求められるスキルと業務を行う上で重 要な診療録・電子カルテ・個人情報・医 療安全について学ぶ	2	75	5		0	0	0		

37	0		PC基礎知識	病院内や地域医療の現場で使われている コンピュータやネットワークシステムに 可いての理解	4	0		0			0	
38	0		ワープロ (Word)	Wordの基本操作から応用までの技術 1 前 の習得	2	0		0			0	
39	0		表 計 算 (Excel)	アプリケーションソフト・エクセルの機能と操作方法を理解させる。関数を使っ1 た計算やデータを利用した集計などを教える。	2	0		0		0		
40	0		プレゼン テーション (PowerPoint)	プレゼンテーションツールを使用し、その操作方法の理解と活用の基本を学び自分の考えを発表出来るようにする	4	0		0		0		
41	0		データベー ス (Access)	データベースの利用と活用方法 1 後 38	2	0		0			0	
42	0		実習支援	病院実習や就職活動への対策や支援を行 う。	2	0		0		0		
43	0		病院実習	学校で学んだことを基に、実際の医療機 関の現場で働く 前			0		0	Δ		0
44	0			コミュニケーションスキルを養い、社会 に出た際にスムーズに人間関係を保てる おうにする	2	0		0			0	
45	0		自主研修	体育館で運動をしたり、検定対策や課題 作成など、自由に選択できる	14			0		0		
		合	<u>a</u> +	45 科目			144	単	位(単位	時	引)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	
Г	卒業要件: 欠席総数20日以内/採点評価50点以上/全課題提出完了の者/学費完納者	1 学年の学期区分	2 期
Ε	履修方法: 同 上	1 学期の授業期間	18~19 週

歴修方法: 同 上 1 学期の授業期間 18~19
 (留意事項)
 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。